



## プレスリリース

令和3年2月17日 10:00

府政記者会 会員各位  
関西空港記者会 会員各位  
水産経済新聞 みなと新聞 各位

平年に比べかなり少なく、過去最低の漁獲量だった昨年並みか  
やや上回る程度と予測

～イカナゴしんこ漁況予報を発表～

大阪湾の春の風物詩、イカナゴ漁の今年の漁況見通しを発表します。  
「今年の大阪湾における漁開始時のイカナゴしんこの資源量は過去最低の漁獲量であった昨年並みか昨年をやや上回る程度と予測され、近年と同様に極めて少ない状況が続いていると考えられます。一方、2月下旬～3月上旬時点でのしんこの大きさは、昨年と比べてやや小さいでしょう。」

大阪湾で操業する漁業者は、毎年、イカナゴの資源量や成長に応じて解禁日や禁漁日を決めて操業を行っています。

当研究所では毎年、1月から大阪湾におけるイカナゴの仔魚の出現状況、水温、季節風の状況などのデータを集め、資源量や成長等の予測を行い、これをまとめた漁況予報は解禁日等を決めるための基礎資料として活用されています。

今年度は1月4日以降で3回の調査を実施し、結果をまとめ、別紙のとおり「イカナゴしんこ漁況予報」として発表します。

(ホームページ版)

- ・内容については、以下のリンク先をご覧ください。

「大阪湾イカナゴしんこ漁況予報」

<http://www.kannosuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/ikanago/index.html>

※イカナゴは主に12月下旬～1月上旬に卵を産みます。生まれてから約2ヶ月、3～4cmに育ったイカナゴを「しんこ」と呼んでいます。